

1 郷土学習の実施

○各学年における郷土学習の充実

1 年生：昔遊びを楽しもう（地域のお年寄りと一緒に）

2 年生：町探検に行こう（校区の店舗や工場見学）

町のすてきを伝え合おう

3 年生：二ツ川の生き物について調べよう

柳川のお祭りについて調べよう

横綱雲龍について調べよう

4 年生：二ツ川はどこからどこまでか調べよう（広松伝さんについて）

柳川の特産物を調べよう

5 年生：二ツ河の農業や産業を調べよう（稲作体験学習）

北原白秋について調べよう

6 年生：長崎の歴史と文化について調べよう

仕事体験をしよう

※令和3年度から各学年でごみの減量について学習を仕組みます。

○地域の人、もの、ことの効果的な活用



〈二ツ川の生き物採集〉

〈稲作体験学習〉

2 特別活動の重視

○代表委員会及び委員会活動の活性化

- ・学校の課題解決につながる実践と全校児童に向けた表現の場の設定
- ・活動の振り返りの場の設定

○学級活動の充実

- ・話し合い活動への時数加配と学級会の計画的な積み重ね
- ・係活動の活性化



〈図書委員会による読み聞かせ〉

3 朝の読書・補充学習の継続的な実施

○月曜日から金曜日の読書タイム（8：40～8：50）

○ニッ河タイム月・水・金曜日（14：05～14：20）

- ・文字を正しく速く書き写せるようにする視写の指導
- ・漢字等を正しく書けるようにする繰り返し指導
- ・体験活動の振り返りを活かした条件作文の指導
- ・百マス計算等で計算力を向上させる繰り返し指導
- ・単元テストを活用した習熟指導

※各学級担任と担任外の2人体制で、子どもたちを
指導します。

防災教育の充実

1 天候急変時（水害）対応集団下校（学期1回）

集中豪雨等の急激な天候の変化に備え、授業終了後、各地区ごとに運動場に集合し、6年生が先頭となって担当職員とともに

1列に並んで下校します。その際、危険箇所を確認しながら歩きます。



〈地区ごとに整列〉

〈一列で下校〉

2 火災非難訓練（5月）

校舎内からの出火を想定し、火災非常ベルが鳴ったら、運動場に素早く避難します。廊下では、煙への対策としてハンカチで

口を覆い、低い姿勢で歩く練習も行います。柳川消防署の方の講話を聴き、消火訓練も行います。



〈消防署の方の講話〉

〈消火訓練〉

3 引き渡し訓練（6月）

急な天候の変化で、徒歩による下校が危険な場合に備え、引き渡し訓練を行います。土曜授業の日の授業終了後、児童は帰りの準備をして教室で待ちます。保護者の方には、上の学年の教室から順に子どもを迎えにきていただき、氏名を確実に確認して引き渡し、一緒に下校します。

4 不審者避難訓練（9月）

柳川警察署の方に来ていただき、登下校中に不審者に遭遇したときにどう行動すべきかを学習します。警察官の方に不審者役になっていただき、捕まえないぐらいの距離をとることの大切さや大声を出すことの大切さを実演を交えながら教えていただきます。



〈役割演技による学習〉

〈大声を出す大切さ〉

5 震災避難訓練（1月）

毎年1月に、地震発生を想定し、避難訓練を行っています。「緊急地震速報」のサイレン音を放送で流し、それを受けて、すぐに机の下に避難します。揺れがおさまったら、運動場に避難するために移動しますが、その際、バッグ等で落下物から頭を守りながら進む練習を行います。